

4-1-17 薬剤部

1. 概要、特色

小児の薬物療法は成人とは違った特別な情報・技術が必要であり専門性が高い。このため薬剤部では専門性の高い薬剤師教育を行い、医療チームの要望に添っている。また、薬剤部では当センターの特色である電子カルテ・IT機器を積極的に活用し、医薬品のバーコード管理によるリスクマネジメントや薬歴管理データベースの構築を実践し、医薬品の安全管理・適正使用及び経営管理に大きく貢献している。加えて我が国における小児科領域及び周産期領域の医薬品情報収集の中心的施設として薬剤データベースの構築に大きく関与し、小児・周産期領域の専門的な医薬品情報の発信、医薬品の適正使用の推進に向けた提言を積極的に行っている。

1) 薬歴管理データベースを活用した医薬品疫学調査と安全性情報収集

薬歴データベースは、小児や妊産婦に用いる医薬品の疫学調査や安全性情報の収集、効率的な医薬品の管理を目的として、いわゆる処方歴の蓄積ではなく、患者に医薬品が実際に投与された実施歴を蓄積してきた。18年度にはさらにバージョンアップを図り、臨床的にも経営的にも有効な情報を抽出し提供できるように整備を行った。

また、18年度には医薬品医療機器総合機構との共同研究として、本邦初の試みとして医薬品使用による副作用発現の予測に関する調査にも薬歴データベースシステムが有効活用されている。

2) バーコード認証、処方チェックシステム等ITシステムを利用した医薬品リスクマネジメント

薬剤部で医薬品に患者認証バーコードを付与することにより、患者への誤投与防止を実践して全国的にも高い評価を得ている。18年度からは持参薬持ち込みについても病棟での認証を可能とした。また、医師の処方時に薬用量や併用禁忌などの医薬品チェックを行うシステムを構築し適正な医薬品使用への支援を行っている。現在、さらなるバージョンアップに取り組んでいる。

3) 小児科領域の医薬品適正使用を目指した小児薬物療法データネットワークの中心施設としての役割

小児科領域の医薬品の適応外使用問題などを改善し、医薬品の適正使用を推進するため、全国小児専門医療施設、一部の国立病院機構成育医療ネットワーク基幹病院及び大学病院などの薬剤部を中心とした小児薬物療法ネットワークを構築し、病院開院以来その中心施設として小児薬物療法の使用実態調査などを実施することで、それらの結果を規制当局及び製薬企業に問題提起を行っている。

18年度は小児科領域の汎用医薬品の用法・用量実態調査、小児に関わる添付文書記載のあり方などの調査及びネットワークを活用して厚生労働省「小児薬物療法根拠情報収集事業」における小児用医薬品の使用実態調査にも参画している。

4) 妊産婦に対する医薬品情報提供・収集の中心的施設（妊娠と薬情報センター事業への参画）

平成17年10月に厚生労働省の事業として当センターに「妊娠と薬情報センター」が設置された。開設当初は世田谷区限定で試行されたが、18年度には関東地区1都6県に相談地域を拡大した。医薬品を妊娠中に服用した場合の胎児への影響については、現時点では十分な臨床情報は蓄積されておらず、また情報を体系的に活用できる体制になっていない。服用中に予期せずに妊娠した場合、中絶が行われたり、妊娠中適切な医療を受ける機会を逸することがあるため、情報の収集及び情報提供の改善が求められており、着実に相談件数が伸びてきている。薬剤部としては医薬品情報管理業務の一環として今後とも積極的に関与していく。

5) 治験・臨床研究の基盤整備に参画

小児科領域の治験・臨床研究は製薬企業にとっての採算性や被験者の獲得に対する困難さなどから積極的に行われていない事実がある。このような状況を少しでも改善するため、薬剤部は治

験・臨床研究の基盤整備にも積極的に関与している。

6) 小児、周産期関連の専門薬剤師育成に向けた教育活動

小児の調剤は成人と異なり、錠剤の粉碎や医薬品の濃度変更など、成人用剤形を小児用に変更して小児が安心して服用できるような調剤を行う必要がある。このような小児の薬物療法は特殊な情報・技術が必要である。妊婦・授乳婦を対象とした薬物療法についても、最新の情報を基に行わなければならない。薬剤部では学生実習や研修会主催、全国での講演活動などを積極的に実施することで妊産婦に関わる情報提供、小児の専門調剤、特殊製剤、注射無菌調製、服薬指導などの全国に向けた指導を継続して行い、専門薬剤師の育成に力を注いでいる。

2. 平成 18 年度業務実績

- 1) 処方せん枚数：入院 80,451 枚、外来院内 19,060 枚、外来院外 80,719 枚
 - 2) 注射処方せん枚数：入院：243,977 枚、外来 25,653 枚
 - 3) 薬剤管理指導：実施患者数 1,478 人、請求件数 858 件、退院時服薬指導加算 240 件
 - 4) 薬剤情報提供：10,060 件
 - 5) 院内製剤加算：実施件数 1,343 件、請求件数 356 件
 - 6) 無菌製剤加算：実施件数 14,357 件 (IVH7,678 件、抗悪性腫瘍 0 件)、請求件数 4,743 件
 - 7) 注射薬混注件数：6,487 件
 - 8) 医薬品安全性情報報告件数：2 件
 - 9) 院外処方せん発行率：80.9%
- 1)～8)は H18.4～H19.3 の合計、9)は H18.4～H19.3 の平均

3. 研究助成金による社会的研究活動

1. 石川洋一(主任研究者)、櫛田賢次(分担研究者)、中村秀文(分担研究者)、寺門浩之(分担研究者)、北園芳文(分担研究者)：平成18年度 厚生労働科学研究費補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「小児薬物療法におけるデータネットワークの実用性と応用可能性における研究」
2. 石川洋一(分担研究者)、木内貴弘(主任研究者・東大 UMIN)：平成 18 年度 日本医師会治験研究促進センター治験推進研究事業「治験の IT 化の現状と課題」

4. 薬剤部にて実施した研修および勉強会

薬剤部では、月 2 回、木曜日の 17 時 30 分より約 1 時間、薬剤部員の研鑽と資質向上を目的として勉強会を開催している。

<平成 18 年度の開催実績>

開催回数：22 回、演題：20 題(内訳は、製品概要説明会 4 回、治験説明会 5 回、臨床・学術勉強会 7 回、学会向け予演会 2 回、その他 4 回)となっている。

5. 薬剤部員による研修等の講演

<院外>

1. 石井真理子：妊娠とくすりの基礎知識・平成 18 年度女性の健康支援事業「第 3 回保健・医療従事者研修会」2006.12.21・千葉
2. 石井真理子：服薬時期による胎児への影響に関する知識・第 1 回妊娠と薬情報センター研修会・2007.3.23・東京
3. 石川洋一：電子カルテと CRF 作成・文科省主催国公立大病院治験コーディネーター養成研修会 2006.7.7・東京

4. 石川洋一：治験のIT化と電子カルテ対応．日本病院薬剤師会薬剤師治験コーディネーター養成研修会、2006.8.7．東京
5. 石川洋一：医療機関における治験実施体制．日本薬剤師研修センター．2006.9.6．東京
6. 石川洋一：薬剤管理指導．東京薬科大学市民講座．2006.10.16．東京
7. 榎田賢次：妊娠と薬情報センターにおける薬剤師の役割．第25回城南地区薬剤師セミナー．2006.7.1．東京
8. 榎田賢次・中島 研：妊娠と薬情報センターの取り組みの現状と将来．医薬品医療機器総合機構研修会．2006.6.19．東京
9. 榎田賢次：妊娠と薬情報センターの取り組みの現状について．平成18年度医薬工業協議会研修会．2006.11.26．東京
10. 榎田賢次・中島 研：妊娠と薬に関する現在の問題点と妊娠と薬情報センターの役割．大阪製薬工業協会研修会．2006.6.9．東京
11. 相良眞一：誤薬防止にITシステム導入の効果について．聖マリアンナ西部病院セーフティマネジメント学習会．2007.1.22．神奈川
12. 中島 研：妊娠中の薬剤使用の問題とその解決に向けた取り組み．第95回くすり相談対応検討会（日本製薬工業会）．2006.10.26．東京
13. 中島 研：妊娠と薬情報センターの取り組み．第34回JAPIC医薬情報講座、2006.3.3

<院内>

- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2006.4.4
- 榎田賢次：医薬品を安全に使うための基礎知識、平成18年度第1回医療安全・感染対策研修会、国立成育医療センター、2006.4.17
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2006.5.8
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2006.6.2
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2006.7.4
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2006.9.4
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2006.10.3
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2006.11.2
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2006.12.4
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2007.1.5
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2007.2.2
- 筒井秀知：処方・注射オーダーと医薬品管理について、平成18年度新採用者研修、国立成育医療センター、2007.3.2